

DC運用商品ラインナップ評価 (ご報告書サンプル)

マーサージャパン株式会社
ウェルス部門

welcome to brighter

目次

- DC運用の現状
- 運用商品ラインナップの構成に関する考察
- 貴社採用商品の定量分析
- 貴社の課題と今後の対策
- 付録
 - 用語集
 - 定量分析の詳細

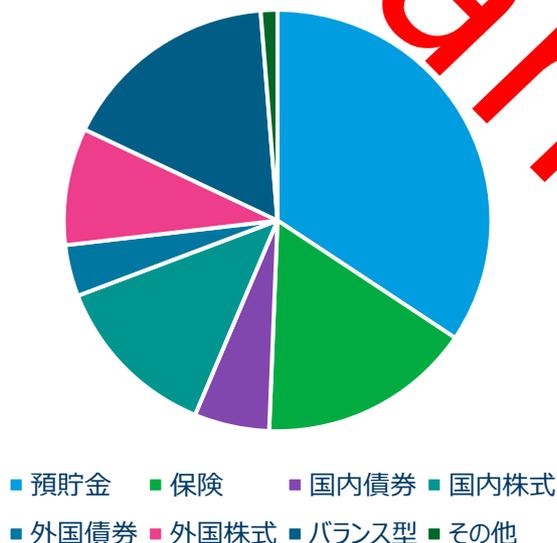
DC運用の現状

DC運用の現状

運用商品の選択状況

現在、日本のDC制度の問題点として元本確保型での運用が多いことが挙げられ、会社が期待する運用収益に到達するのが難しいと思われる加入者が多い

運用商品の選択状況（市場）



	市場	貴社
預貯金	34.4%	40.0%
保険	16.2%	20.0%
国内債券	5.7%	10.0%
国内株式	12.9%	10.0%
外国債券	3.9%	5.0%
外国株式	9.0%	5.0%
バランス型	16.6%	10.0%
その他	1.3%	0.0%

運営連絡協議会「確定拠出年金統計資料2019年3月末」

運用商品ラインナップの構成に関する考察

運用商品ラインナップの構成に関する考察

運用商品評価の法令要件

運営管理機関が専門的知見に基づき運用商品の選定・提示をおこなうが、事業主は社員の利益のためにその選定が適切であるか確認することが求められている

法令等で求められる事項（一部マーサー加工）

<法令解釈第4>

加入者等が真に必要なものに限って運用の方法が選定されるよう、運営管理機関と労使が十分に協議・検討を行って運用の方法を選定し、また定期的に

定期的な見直しを行った場合は、加入者等に対し、見直しの結果及びその理由を示すこと

<法令解釈第9（忠実義務）>

事業主は、企業型確定拠出年金制度を実施する主体であり、もっぱら加入者等の利益のみを考慮して、運営管理機関を選定する必要があることから、特に運用関連業務（運用商品の選定・提示等）がもっぱら加入者等の利益のみを考慮して、適切に行われているかを確認するよう努める必要がある

最低限、説明を受ける必要がある事項

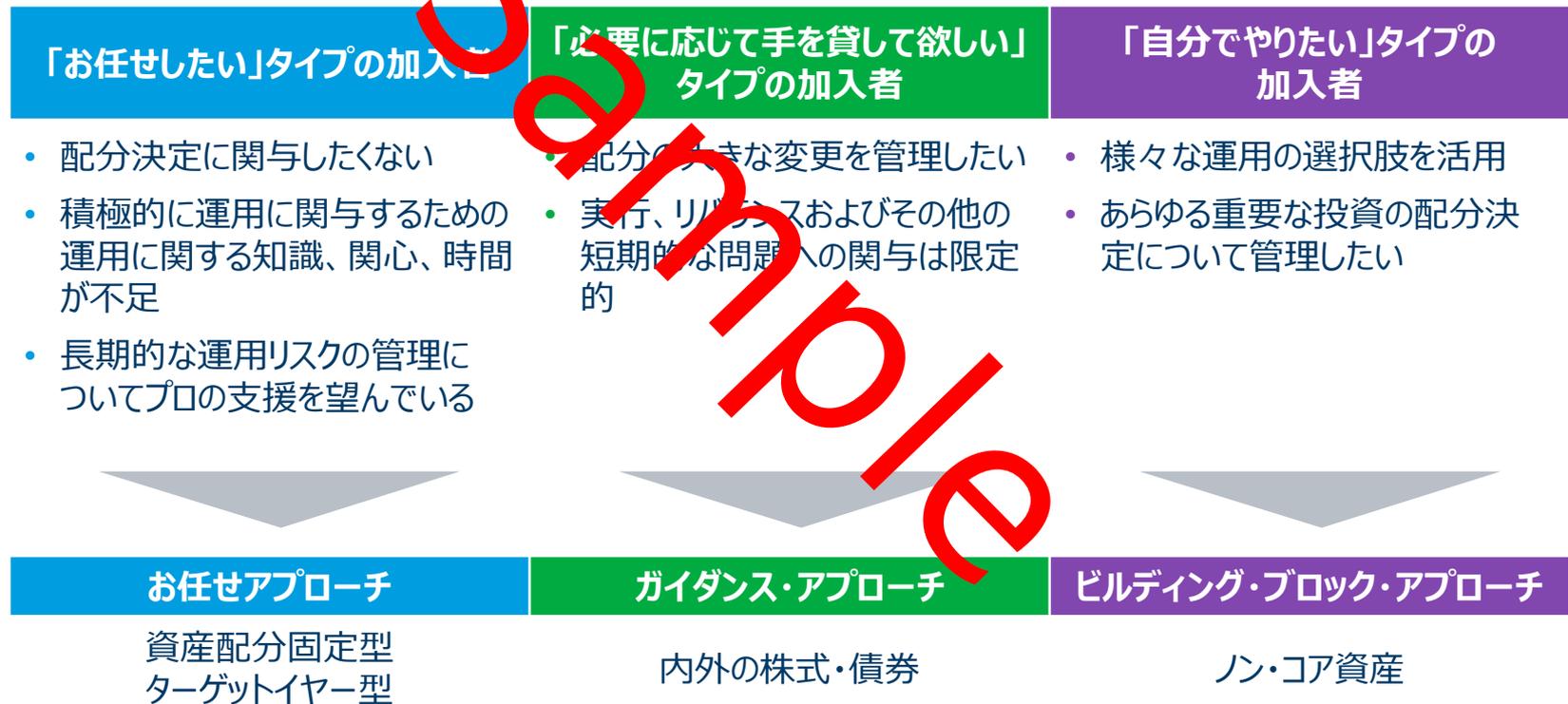
- 提示された商品群の全て、または多くが1金融グループに属するものであった場合、それが加入者等の利益のみを考慮したものであるといえるか
- 他の同種の商品よりも劣っている場合（運用成績、利回り、安全性、手数料等）に、それが加入者等の利益のみを考慮したものであるといえるか
- 商品の手数料について詳細が開示されていない場合または開示されているが加入者にとって一覧性がない、もしくは詳細な内容の閲覧が分かりにくくなっている場合に、なぜそのような内容になっているか
- 運営管理機関が事業主からの商品追加や除外の依頼を拒否する場合、それが加入者等の利益のみを考慮したものであるといえるか

運用商品ラインナップの構成に関する考察

加入者等の特性・ニーズ

加入者等に応じて、DC運用に関する知識やリスク許容度等が異なり、それぞれの特性に対する相応しい商品は以下に示した通り

「お任せしたい」「必要に応じて手を貸して欲しい」タイプの加入者が多い



運用商品ラインナップの構成に関する考察

ご提案する運用商品ラインナップ構成の一例

XXX				
	「お任せしたい」 タイプの加入者	「必要に応じて手を貸して欲しい」 タイプの加入者		「自分でやりたい」 タイプの加入者
元本確保型	複数資産型	単一資産コア パッシブ	単一資産コア アクティブ	単一資産 ノンコア
預貯金	資産配分固定型	国内債券	国内債券	エマージング債券 パッシブ
預貯金	ターゲットイヤー型	国内株式	国内株式	エマージング株式 パッシブ
		外国債券	外国債券	国内REIT
		外国株式	外国株式	外国REIT

貴社採用商品の定量分析

貴社採用商品の定量分析

分析結果まとめ①

資産区分	商品数	評価	コメント
元本確保型	2	★ ★ ★	銀行の健全性に問題なく、元本確保型の商品として相応しい
複数資産型（パッシブ）	1	★ ★ ★	ユニバースと比較して信託報酬が低水準であり、現時点で適切な商品といえる
複数資産型（アクティブ）	1	★ ★ ☆	信託報酬が高く、過去の実績利回りはベンチマークと同程度であるが、今後も継続的な評価が必要
単一資産コア パッシブ	4	★ ★ ★	ユニバースと比較して信託報酬・トラッキングエラーが低水準であり、現時点で適切な商品といえる
単一資産コア アクティブ	2	★ ☆ ☆	信託報酬が高く、過去の実績利回りもベンチマークに劣後しており、定量面では望ましいといえない
単一資産ノンコア パッシブ	2	★ ★ ☆	ユニバースと比較して信託報酬・トラッキングエラーが低水準であるが、リスクが高く、今後も継続的な評価が必要
総合	14	★ ★ ☆	概ね合理的な商品構成であるといえるが、除外・入替を検討すべき商品もいくつかあるといえる

貴社採用商品の定量分析

分析結果まとめ②

資産区分①	資産区分②	商品名	評価
元本確保型	預金	○△銀行 定期預金1年	★ ★ ★
元本確保型	預金	□×銀行 定期預金1年	★ ★ ☆
複数資産型 (パッシブ)	資産配分固定	DCバランス25	★ ★ ★
複数資産型 (パッシブ)	資産配分固定	DCバランス50	★ ★ ★
複数資産型 (パッシブ)	資産配分固定	DCバランス75	★ ★ ★
複数資産型 (アクティブ)	ターゲットイヤー	ターゲットイヤー2030/2040/2050	★ ★ ☆
単一資産コア (パッシブ)	国内債券	DC日本債券インデックス	★ ★ ☆
単一資産コア (パッシブ)	国内株式	DC日本株式インデックス	★ ★ ★
単一資産コア (パッシブ)	外国債券	DC外国債券インデックス	★ ★ ★
単一資産コア (パッシブ)	外国株式	DC外国株式インデックス	★ ★ ★
単一資産コア (アクティブ)	国内株式	日本応援株式	★ ☆ ☆
単一資産コア (アクティブ)	国内株式	インテリナショナル株式	★ ★ ☆
単一資産ノンコア (パッシブ)	エマージング債券	DC新興国債券インデックス	★ ★ ☆
単一資産ノンコア (パッシブ)	エマージング株式	DC新興国株式インデックス	★ ★ ☆

貴社採用商品の定量分析

分析結果_単一資産コア（パッシブ）

パッシブ商品はベンチマークに連動する投資成果を目指す商品であるため、信託報酬が低いこと、トラッキングエラーが小さいことが重要である

貴社採用商品

商品名	運用会社	ベンチマーク	貴社投資額（百万円）
DC日本債券インデックス	XX	XX	XX
DC日本株式インデックス	XX	XX	XX
DC外国債券インデックス	XX	XX	XX
DC外国株式インデックス	XX	XX	XX

定量評価

商品	信託報酬	トラッキングエラー	弊社コメント
①	第三四分位より高い	第一四分位より低い	信託報酬が高く、より良い商品を追加することを検討すべき
②	第一四分位～第二四分位	第二四分位～第三四分位	信託報酬は中程度であるが、現時点では特段問題ない
③	第二四分位～第三四分位	第二四分位～第三四分位	信託報酬は中程度であるが、現時点では特段問題ない
④	第一四分位より低い	第一四分位より低い	信託報酬・トラッキングエラーが低く、現時点では問題ない

貴社採用商品の定量分析

分析結果_単一資産コア（アクティブ）

アクティブ商品は、インデックスを上回る運用成績をあげること为目标とする運用方法であり、信託報酬の他、定量分析では実績の運用利回りやリスク等を確認する

貴社採用商品

商品名	運用会社	ベンチマーク	貴社投資額（百万円）
日本応援株式	XX	XX	XX
インターナショナル株式	XX	XX	XX

定量評価

商品	信託報酬	トラッキング エラー	ベンチマーク 超過収益率	リスク	インフォメーション レシオ	弊社コメント
①	第三四分位 より高い	第二四分位～ 第三四分位	第二四分位～ 第三四分位	第一四分位～ 第二四分位	第二四分位～ 第三四分位	信託報酬が高く、過去の実績利回りもベンチマークに劣後しており、定量面では望ましいといえない
②	第一四分位～ 第二四分位	第一四分位～ 第二四分位	第一四分位～ 第二四分位	第一四分位～ 第二四分位	第一四分位～ 第二四分位	過去の実績利回りはインデックスとほぼ同水準であり、またユニバース内では定量面で優れた商品であるといえる

貴社の課題と今後の対策

貴社の課題と今後の対策

Sample

付録

用語集

用語	説明
アクティブ商品	市場平均（ベンチマーク）以上の運用成果を目指して運用する運用商品。
パッシブ商品	市場平均（ベンチマーク）の指数に連動する運用成果を目指して運用する運用商品。インデックス商品とも呼ばれる。
インフォメーション・レシオ	ベンチマークに対する超過収益率をトラッキングエラーで割って算定され、主にアクティブ商品の効率性を示す。数値が高いほど、効率性が高いことを示す。
エマージング債券・株式	成長段階の国・地域の市場における債券・株式。新興国債券・株式とも呼ばれる。
ターゲット・イヤー型商品	バランス型商品的一种であり、定年時等のあらかじめ目標とする年を設定し、目標時点に向けてリスク資産の割合を自動的に低下するよう運用する運用商品。ターゲット・デート型商品とも呼ばれる。
トラッキングエラー	運用商品のベンチマークとの乖離の大きさを示す指標。超過収益率の標準偏差で算出される。数値が大きいほど、ベンチマークに対して取っているリスクが大きいことを示す。アクティブ・リスクとも呼ばれる。
バランス型商品	債券や株式等の複数資産を投資対象に分散投資を行う運用商品。
ベンチマーク	運用成果の評価を行う際の比較すべき基準として用いられる指標。市場平均の動きを示す指標（TOPIX等）を用いる。
ユニバース	比較対象となるような類似の運用商品のデータを集計したもの。

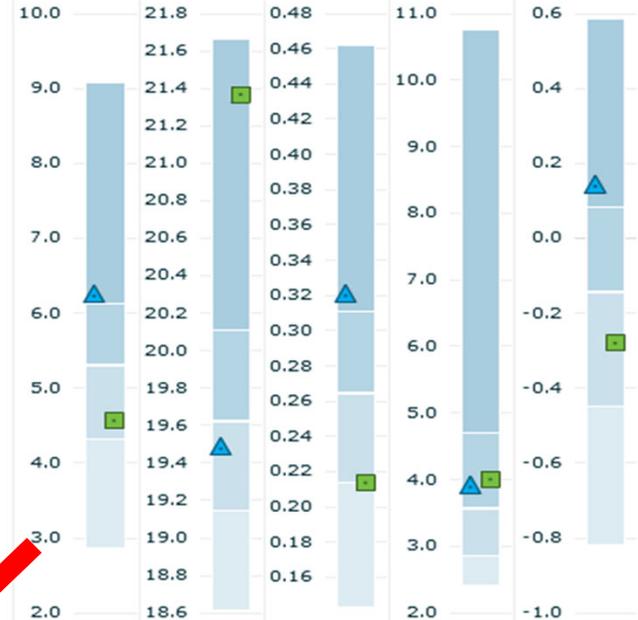
定量分析の詳細

リターン：通貨 日本円 (費用控除後) 期間 1年, 2年, 3年, 5年, 10年 : 2018/03
 カスタム・ユニバースとの比較: DC_Japan Equity Active



	1年 (%)	2年 (%pa)	3年 (%pa)	5年 (%pa)	10年 (%pa)
▲ ABC	24.4	17.8	8.9	14.2	6.2
■ DEF	14.8	15.1	5.9	13.3	4.6
⊖ TOPIX	15.9	15.3	5.8	12.9	5.7
第 95 パーセンタイル	39.5	23.2	14.9	19.5	9.1
上位四分の一	21.4	16.9	7.1	13.8	6.1
中央値(メジアン)	17.5	15.6	6.1	12.8	5.3
下位四分の一	14.8	14.6	5.1	11.7	4.3
第 5 パーセンタイル	12.3	12.2	2.6	9.6	2.9
ファンド数	57	53	52	52	48

パフォーマンス特性 対 TOPIX：通貨 日本円 (費用控除後) 期間 10年 : 2018/03
 カスタム・ユニバースとの比較: DC_Japan Equity Active (月次データ)



	リターン (%pa)	標準偏差 (%pa)	Ret/SD	TE (%pa)	IR
▲ ABC	6.2	19.5	0.3	3.9	0.1
■ DEF	4.6	21.4	0.2	4.0	-0.3
⊖ TOPIX	5.7	21.7	0.5	10.8	0.6
第 95 パーセンタイル	9.1	21.7	0.5	10.8	0.6
上位四分の一	6.1	20.1	0.3	4.7	0.1
中央値(メジアン)	5.3	19.6	0.3	3.6	-0.1
下位四分の一	4.3	19.1	0.2	2.9	-0.5
第 5 パーセンタイル	2.9	18.6	0.1	2.4	-0.8
ファンド数	48	48	48	48	48



welcome to brighter